

やまゆり通信

2月

令和6年 2月 1日



たくさんの本を寄贈していただきました



今年も杉本財団法人様より、たくさんの本を寄贈していただきました。子どもたちから希望を聞き、図書担当の先生がおすすめの本を選んで、今年は170冊もの図書が届きました。いろんな分野やそれぞれの学年にあった本が教室やろう下にならんでいます。タイトルを見るだけでワクワクして、思わず手に取って見てしまうものばかりです。最近はデジタル図書が流行(はや)りですが、紙のページを1枚ずつめくりながら、本の重さや紙面の大きさを感じながら読むことも大切なのではないかと思います。読者が苦手な人の中には、本は最初から最後まで読まないといけないと思っている人もいるかもしれませんが、はしょって読んだり、必要な所だけ読んだりしてもかまわないと思います。私は高校生の時、ある小説の中の挿絵(さしえ)がきれいで、そこばかり見えていた記憶があります。私は小学生、中学生の頃は図鑑が好きでよくながめていましたが、小説や物語りなど教科書以外では読んだことがありませんでした。中学校1年生の時、感想文の課題で買った名探偵(たんでい)シャーロックホームズの「バスカビル家の犬」を読み始めましたが、最後までよむことができず、小説はそれ以来まったく読みませんでした。高校の時、机の奥にねもついていた「バスカビル家の犬」が目にとまり、何となく最初のページを読むと完全にはまってしまいました。シャーロックホームズの独特な個性と表現に引きこまれてしまいました。ホームズ作品すべて読んだのはもちろん、訳(やく)す人(ホームズは英語の小説です)によっても表現が変わるので、いろいろな人が訳した本を読みました。内容を知っていてもまた読んでしまいます。同じ感じで三国志(中国の歴史小説)にもはまりました。最初は横山光輝さんのマンガで読み、そのおもしろさに引きこまれて吉川英治さんが書いた三国志、陳舜臣(ちんしゅんしん)さんの三国志、北方謙三さんの三国志など5人の作品を読みました。同じ三国志でも書く人によってこんなに違うものなのかと、そのおもしろさにはまりました。本のおもしろさは、文字で入る情報をもとに自分の頭の中でいろいろ感じて、想像して進んでいくところにあると思います。読む人によってすべて違うとらえ方ができるのが本のすてきなところです。児童生徒のみなさんは、今の自分の若い心で本とふれあっていきましょう。いろいろな世界が待っていますよ。



2月行事予定

- 2日(金) スクールソーシャルワーカー来校
- 3日(土) 節分
- 6日(火) 県内私学入試
- 7日(水) 職員会議
- 8日(木) すこやか推進委員会
PTA役員選考会議
- 11日(日) 建国記念の日
- 12日(月) 振替休日
- 13日(火) 新入生説明会
- 14日(水) 校内安全点検
- 16日(金) 特色選抜
- 19日(月) 学校公開 スクールカウンセラー講演会
園・学校運営協議会
- 20日(火) 諸費集金
- 21日(水) 職員会議
- 23日(金) 天皇誕生日
- 24日(土) 子ども駅伝試走
- 26日(月) 期末テスト(~28日)



八日薬師 弓引き行事

1月8日に河合地区の伝統行事である弓矢祭がありました。4名の児童生徒が参加し、凛々(りり)しい姿で矢を射(い)りました。この行事は南北朝時代から伝わるもので、平家の落ち武者(おしゃ)の一門が鍛錬(たんれん)のために行ったものが始まりだそうです。700年近く受け継いでこられた伝統行事で、大切に守られているのが伝わってきました。児童生徒が放った矢が的(まと)に当たると、大きな拍手と歓声があがっていました。



